

## 令和 2 年度決算の概要

### 1. 教育・研究及び医療環境の整備

#### (1) [教育関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応  
学習環境を整備するとともに、学生に対して支援金の支給や授業料減免等の支援を行いました。
- ② 御井学舎  
学生寮第 2 棟をリノベーションし新たに女子学生寮として竣工しました。
- ③ 医学部  
教育 1 号館 1 階サロンを改修し学生食堂としての利用に加えて、自習スペースとしての利用も可能となりました。
- ④ 附設高校校  
ICT活用教育における電子黒板プロジェクター、タブレット導入により、更に効率的かつ充実した授業を行いました。

#### (2) [研究関係]

- ① 私立大学研究ブランディング事業では、文部科学省からの支援が終了しましたが、令和 2 年度、令和 3 年度の 2 年間は、大学の事業計画として研究活動を継続しています。

#### (3) [医療関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応  
院内感染対策を強化と患者受け入れ体制を構築して、近隣医療機関と連携しながら地域医療体制の維持を行っています。
- ② 医療情報(電子カルテ)システムなどの更新  
令和元年度からの継続事業で、院内における他職種間の情報共有、地域の診療所や各種事業所など多施設との情報共有、連携がさらに円滑にできるようになりました。

### 2. 財務状況

#### 【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の 5 9 7 億 4, 4 0 0 万円から、事業活動支出計の 5 8 2 億円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、1 5 億 4, 4 0 0 万円となり、予算比で 1 3 億 7, 0 0 0 万円の増となりました。

内訳として、経常収支差額は 1 5 億 6, 9 0 0 万円となり、予算比では 1 3 億 6, 0 0 0 万円の増となりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、診療体制の整備対応など医療収入は大幅に減少しましたが、経費の支出の削減とともに新型コロナウイルス感染症対策に係る交

付金などが主な要因です。

臨時的な収支を示す特別収支差額は△2,500万円、収入では、新型コロナウイルス感染症に関する施設設備の補助金の増、支出では資産処分差額の増などにより、予算比で1,000万円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計10億800万円を差し引いた当年度収支差額は、5億3,500万円の収入超過となりました。

以上のことから、基本金組入前当年度収支差額は黒字となったものの、安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の改善を図り、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

### 【資金収支の状況】

収入の部小計の943億300万円から、支出の部小計の932億3,400万円を差し引いた当年度収支差は、10億6,900万円となり、予算比では11億6,600万円の増となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えて、収入の部では資産売却収入の減、支出の部では施設関係支出、資産運用支出で減となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、55億2,200万円となりました。

### 【貸借対照表の状況】

資産の部合計は1160億3,900万円で、前年度比6億9,700万円増加しています。一方、負債の部合計は301億5,100万円となり前年度比8億4,600万円減少しています。基本金と繰越収支差額を合計した純資産は858億8,800万円となり、前年度比で令和2年度の基本金組入前当年度収支差額分の15億4,400万円増加しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。